

多田雅史

件名: 全国ベンゾジアゼピン薬害連絡協議会 (BYA)【情報 Vol.1 6 5】
添付ファイル: ベンゾジアゼピン系薬物に関する規制強化の実施及び副作用による被害者の救済等に関する
請願：付託予定の同趣旨の請願一覧：参議院.pdf; 2020国会へ請願（参議院__川田
龍平議員の署名押印）提出版.pdf; 「心療眼科医・若倉雅登のひとりごと」最終回に寄せて
…最も多かったキーワードは？ _ yomiDr. _ ヨミドクター（読売新聞）.pdf

各位（本情報提供メールは当会会員、協力弁護士、協力医、報道機関、
医療過誤団体、野党政党等の約300カ所へ送信しています）

全国ベンゾジアゼピン薬害連絡協議会 (BYA) の多田雅史です。
本メールはベンゾジアゼピン (BZD) 関連情報をお送りしています。

本メールで2019年の最終メールで臨時号です。

今回は添付ファイルが少ないため、本メールに情報を、直接、書き込みます。

なお、以下のBYA-HPにも掲載します。

<https://www.benzodiazepine-yakugai-association.com/%EF%BD%82%EF%BD%99%EF%BD%81%E6%83%85%E5%A0%B1%E6%8F%90%E4%BE%9B%E3%83%A1%E3%83%BC%E3%83%AB-%E3%81%9D%E3%81%AE%EF%BC%93/>

【目次】

1. 2020国会（第201回国会）への請願（**2件添付**）
2. 「心療眼科医・若倉雅登のひとりごと」最終回に寄せて…最も多かったキーワードは？（yomi Dr.）（**添付**）
3. ふらつき、食欲不振、めまい、ふるえ、ED……逆引きリストでわかるあなたの不調は「薬の副作用」

【記事】

1. 2020国会（第201回国会）への請願（**2件添付**）
 - (1)参議院 国会HPのリンク先の**新件番号No.20**とおり、正式に参議院へ請願されました。
皆さんも支援する政党の国会議員へ厚生労働委員会で採択してもらうよう働きかけましょう。
<https://www.sangiin.go.jp/japanese/joho1/kousei/seigan/201/seigan.htm>
 - (2)衆議院 国会HPに未掲載のため、掲載され次第、ご連絡します。
2. 「心療眼科医・若倉雅登のひとりごと」最終回に寄せて…最も多かったキーワードは？（yomi Dr.）（**添付**）
<https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20200110-OYTET50030/>

以下引用

『視覚系の障害は、ほかの心身の障害とは大きく異なるいくつかの生活上の不都合が生じるが、それが必ずしも日本の医療・福祉制度の中に重い位置づけとして反映されていないのではないかという疑問が、「ひとりごと」になったのだと思います。』

『「薬物副作用」「ベンゾジアゼピン」が上位なのは、医師患者間のコミュニケーションを重視せず、薬漬け医療が蔓延している医療現場の実態を読者に訴えたくて、繰り返し書いた結果です。

私は「ベンゾジアゼピン眼症」という名称を提唱していますが、眼症が進んでくると、高度のまぶしさ（羞明）や眼痛で目を開け続けることができなくなる薬物性の「眼瞼けいれん」に移行してくることを、自身の外来で多数経験しています。』

若倉雅登医師には、今後も継続して、ベンゾジアゼピン系薬物に因る副作用の実態を警鐘していただきたい。

3. ふらつき、食欲不振、めまい、ふるえ、ED……逆引きリストでわかるあなたの不調は「薬の副作用」

<https://headlines.yahoo.co.jp/article?a=20200123-10001067-bunshuns-life>

(有料記事のため、ここまでです)



全国ベンゾジアゼピン薬害連絡協議会 多田雅史